

# 講演会 コロナ禍を軍縮への転換点に

## ～敵基地攻撃論と武器取引から考える～



コロナ危機の中で、人の命を救う砦である感染病床の不足が深刻化しています。武器は、使用されて人の命を奪うだけでなく、人びとの生存に必要な予算を削ることでも命を奪っています。日本政府は、軍事費を過去最高に増やし、辺野古新基地建設を止めることなく、宮古島などへのミサイル配備を進めています。「武器より暮らしを！」と訴え続けてきた杉原浩司さんのお話しをお聞きして、私たちのできることを考えてみませんか。

### <講師プロフィール>

武器取引反対ネットワーク「NAJAT」代表。共著に『武器輸出大国日本でいいのか』（あけび書房）、『亡国の武器輸出』（合同出版）。『世界』（岩波書店）に「武器見本市という憲法的不祥事」（2019年12月号）、『敵基地攻撃能力』保有論を批判する」（2020年10月号）を寄稿。

期 日 : 11月13日(金) 19:00～21:00

配信方法 :  オンライン配信 Zoom

\*開始までにZoomソフト（またはアプリ）のインストールをしておいてください。

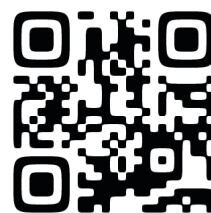
\*マイク・スピーカーが内蔵または外付けされているパソコン、もしくはスマホ、タブレットが必要です。

講 師 : 杉原 浩司さん（武器取引反対ネットワーク「NAJAT」代表）

参加費 : 500円（税込、オンライン決済のみ）

申し込み : 次のURL、QRコードよりお申し込みください。

<https://peatix.com/event/1595033>



✦ 11月12日20:00以降に、ご登録いただいたメールアドレスに当日のZoomリンク先URLとPDF資料を送ります。

✦ 11月13日当日にZoomリンク先URLが届いていない場合、以下までメールでお問い合わせください。[rekyo.musashino@gmail.com](mailto:rekyo.musashino@gmail.com)（武蔵野支部）

申し込み締切 : 11月12日18:00まで

主 催 : 歴史教育者協議会 武蔵野支部  
問合先 : 090-4381-4463（黒田）